

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2010
平成22年

3.15

目次

広報サポーターだより 成章高校吹奏楽部	2
六連校区	4
学校は今… 食育と健康教育の取り組み	5
たはらシティニュース	6
田原市民活動支援センターのページ	7
お知らせ	8
連載コーナー	10

あなたの笑顔も
咲きますように！





●真剣な表情で練習に取り組む部員たち



広報サポーターだより

一人ひとりが輝くバンドを目指して活動

愛知県立成章高等学校吹奏楽部を訪ねて

皆さんこんにちは。広報サポーターの永井和子です。私はこの時期になると、楽しみにしていることがあります。それは、成章高校吹奏楽部の定期演奏会です。今回は、間近に迫った定期演奏会に向けて、一生懸命練習している吹奏楽部を訪ねました。



広報サポーター
永井和子

成章高校吹奏楽部とは

成章高校吹奏楽部は1961年に創部された、県下でも最も古い歴史を誇る吹奏楽部の一つで、部員数は現在81名(2月末)です。部訓の『☆皆星☆』は「一人ひとりが輝くバンドを目指す」という意味で、地域に根ざした音楽活動を大切にしているとのこと。部員の皆さんは、聴く人の心をふるわせるあたたかい音楽づくりを目標に、練習に励んでいます。夏の吹奏楽コンクールでは東海吹奏楽コンクールに11回出場、全国高等学校総合文化祭には2回出場、定期演奏会のほかに学校行事や田原市音楽祭などでも活躍されています。また昨年は、初めて渥美病院の病院祭でも演奏を行いました。

練習には、顧問の先生をはじめ、吹奏楽部を巣立った先輩たちも時々かけつけてくれて指導しているそうです。部員たちは多くのことを学んでいくことができます。また、顧問の鈴木孝育先生については、「進路指導主事の先生でもあり、卒業後の進路のことについても親身になって相談ののってくれるんですよ」と、部員の方が教えてくれました。

平成21年度吹奏楽部部长 小川紗也香さんから「顧問の先生や先輩方、家族、地域の皆さんのおかげで3年間やってこれたと思います。私たちは感謝の気持ちを胸に、定期演奏会を成功させ、皆さんに喜んでいただける演奏をしたいと思っています。」





●ミュージカルの練習は迫力満点



●ミュージカル『羊飼いの娘とえんとつ掃除屋さん』
古い屋敷にある陶器の羊飼いの娘の人形と煙突掃除の人形の物語で、子どもからお年寄りまで楽しんでいただけるようにアレンジされています。

定期演奏会

毎年3月下旬に、吹奏楽部の二年の集大成として開催されているのが定期演奏会です。この定期演奏会には、大勢の地域の皆さんが聴きに来ていて、毎回立ち見客が出るほどの盛況ぶり。私も何度か足を運んだことがあるのですが、どの演奏曲も素晴らしく感銘を受けました。来年は創部50周年記念として、アイプラザ豊橋で開催されます。



定期演奏会の見どころは

今回の定期演奏会の見どころを聞くと、「ミュージカルですー」と声をそろえる部員たち。今年のミュージカルのテーマは、『羊飼いの娘とえんとつ掃除屋さん』です。第7回の定期演奏会からミュージカルに取り組み、今や成章高校吹奏楽部の定期演奏会には欠かせることのできないものとなりました。吹奏楽部がミュージカルに挑戦するのは、全国でも珍しいそうです。夏の大会が終わってから、部員たちで配役などを決めて練習してきました。台本のアレンジや衣装、舞台、道具などのすべてが、部員たちの手づくり上げられたものです。衣装も本格的で、昨年の定期演奏会では見に来た方たちも驚いていたようです。

成章高校吹奏楽部 第10回定期演奏会

君と歩んだ軌跡 君と掴んだ輝石

- 日時 3月28日(日)
開演14:00(開場13:30)
- 会場 渥美文化会館文化ホール
- 入場料 無料
- 内容 第一部/クラシックステージ
第二部/ミュージカルステージ
第三部/
OG・OBステージ・ポップスステージ
- 問合先 成章高校 22局0141

部員の皆さんから一言

今まで先輩たちがづくりあげたミュージカルより素晴らしいものになるようにがんばります。来てくださったお客さんからもう一度見たいと言われるようなミュージカルにしたいと思いますので、ぜひ見に来てください。



成章高校吹奏楽部は、先輩後輩も関係なく、和気あいあいと練習に取り組んでいます。定期演奏会は今年でちょうど10回目。演奏会の成功を目指し、授業後の練習にも熱心に取り組む部員たち。今後部員たちが、ますます活躍されることを期待します。

六連

基礎データ

【人口】1,815人(H22.1.31現在)
 【世帯】582世帯(H22.1.31現在)
 【面積】約710ha
 【公共施設】六連保育園・六連小学校
 【文化財・史跡】長仙寺(山門・仁王像・護摩堂)・
 百々陶器窯跡
 【主な産業】農業

●久美原海岸

校区の概要

六連校区は、中心市街地の南東に位置し、豊橋市に接しています。南は勇壮な太平洋を望み、景観豊かな海食岸や崖森、丘陵地が織り成す広大な農用地を抱えた地域で、長上・久美原・浜田・百々・新浜の5つの地区で構成されています。農業は専業農家が半数を占め、豊川用水の通水や農林総合整備事業により施設栽培も盛んとなり、多種の果菜を生産しています。夏はスイカ、冬はセロリが六連の特産品となっています。人気の観光地引き網も数多く行われ、穏やかな波の日には釣人が絶えず、特に近年はワラサが釣れることで、早朝は砂浜が人で埋まるほどです。

郷土劇「あれ地に水を」

六連小学校では、4年生が学芸

●あれ地に水を



会で「あれ地に水を」の劇を上演することが恒例となっています。この劇は、昭和初期に富山村から六連の地に移住した12人の開拓者の

●開拓者とその家族(昭和12年ごろ)



様子を描いたものです。劇では、赤褐色のやせ地を鋤による手作業で耕す様子や、苗にかける水を遠く離れたため池から桶とリヤカーで何度も運ぶ様子など、当時の苦労や努力などが紹介されています。今では、開拓の様子を知る人が少なくなりましたが、校区の歴史を今に伝える大切な文化行事となっています。

おたがまつり

長仙寺では、毎年3月の第二日曜日に、渥美半島に春を呼ぶ祭りとして有名な「おたがまつり」が行われています。中でも、人々が糸まりを奪い合う呼びものの「玉取り」は、表浜の網元の若衆たちが、網の

威信をかけ、神仏の加護を受けるために競い合ったのが始まりと伝えられています。

校区の活動

先人の築いてきた地域への愛着心、思いやりある人と人との結び付きの精神を引き継ぐため、校区民のふれあいの機会の場として、「夏まつり(盆踊り)」「市民館まつり」を行っています。このイベントは年々盛況になっており、バザーや餅つき大会は大変な人気です。校区では、住民や後継者の将来にとって安心・安全で豊かな環境づくりを、みんなの参加と協働で行っています。

●おたがまつり(玉取り)





学校は、今...

SCHOOL REPORT 20

食育と健康教育
の取り組み



各学校では、お米や野菜の栽培、調理を通しての食育、授業や放課、行事などを利用した体力づくりを行っています。今回は、赤羽根小学校と福江小学校の取り組みについてご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

家庭・地域と連携した食育(赤羽根小学校)

学校給食文部科学大臣表彰受賞

赤羽根小学校では、文部科学省と愛知県から委嘱を受け、家庭や地域と連携しながら、子どもたちの食生活を改善する活動に取り組んでいます。

子どもたちが栽培した野菜は、夏野菜だけでも28品目ありました。収穫した野菜は、調理実習や親子料理教室で使うだけでなく、給食で使ったり、家庭でも調理してもらったりしました。食育に協力していただいている「にんじんの会」の方に、低学年は野菜作りを、4年生は手打ちうどん作りを教えていただきました。5年生は農家の方の指導で、学校の温室でメロンとイチゴを栽培しました。6年生は、保護者の方にアジの開き方やフィリピン料理の作り方を教えていただきました。

自分で育てて食べる体験は、野菜への愛着や感謝にもつながり、野菜嫌いも自然に克服され、給食をほとんど残さなくなりました。



●親子鬼まんじゅう作り



●育てたジャガイモは給食のカレーに



●自己記録の更新を目指して



●みんなで短縄跳びの練習

自ら進んで体力づくり(福江小学校)

愛知県健康推進学校特別優秀校表彰受賞



福江小学校では、放課になると子どもたちが、寒い時期でも運動場に飛び出して元気よく遊んでいます。

昨年の11月下旬から12月下旬までは、マラソンに取り組みました。毎日、マラソンカードに何周走ったかを記録しました。中には毎日20周近く走る子もいました。子どもたちは、持久走大会に向けて自己記録の更新を目標にがんばっていました。

1月の運動場では、短縄跳びチャンピオンを目指して、放課に練習したり、先生に教えてもらったりする子どもたちの姿が見られました。短縄大会では、短縄跳びの級が上がり、飛び上がって喜ぶ子どもたちがたくさんいました。2月には、学級ごとに長縄跳びにチャレンジしました。長縄大会に向けて、どの学級でも声を掛け合ったり、何度もみんなで挑戦したりして、まとまっていく子どもたちの成長を見ることができました。



田原市民活動支援センターのページ

「しみんのひろば」の新しい仲間をご紹介します!

2/21(日)、田原市総合体育館周辺で、市民活動発表と交流のイベント「第3回しみんのひろば」が行われました。今年度は文化会館周辺から拠点を移しての開催で、広さを活かし、恒例の竹ドームに加えカフェやお菓子の家も出現! 展示されたボートからの釣りゲームが人気でした。ステージでの寸劇や、着ぐるみ姿の運営委員による各ブースへの突撃インタビューなどの新しい試み、初出展をした高校生のブースにもぎわいをみせていました。そんな「しみんのひろば」に、今回新しく参加した6団体をご紹介します。

渥美農業高等学校

農業におけるさまざまな取り組みへの挑戦の一つとして、地元の食材を活かした製品を作っています



ぬりえやさん

みんなが楽しく幸せになれることを目指して作品を作っています



廻屋(めぐりや)農園

若戸地区で自然栽培を通して食を探求しています「しみんのひろば」ではマクロビオティック弁当をお披露目しました



にんじんの会

地元で子どもたちと関わりながら安全でおいしい野菜を学校給食に届けています

地域活動支援センター なのはな

障がい者が日中を有意義に過ごせる場を提供するために、一緒に自主製品を作るなど、さまざまな活動をしています



田原UC

中高生の仲間たちと助け合い地域社会の未来を創造し、世の中を動かす人を育てる活動をしています



助成金・補助金情報

市民活動を行うために、さまざまな補助や助成があります。ここではタイムリーな助成金情報を掲載。

助成事業名	内容や対象など	申請期日	申込み・問合せ
平成22年度 市民協働まちづくり事業 補助金	<ul style="list-style-type: none"> 田原市内で公益活動を行う5人以上で構成された団体 市内および市民に対して実施される事業で、先駆性および創意工夫など市民感覚の柔軟なアイデアや発想のあること 	4/9(金) 必着	市役所市民協働課 Tel (0531)23-3504 Fax (0531)23-0180 Email kyoudou@city.tahara.aichi.jp *公開審査会: 4/29(木・祝) 午後から 田原福祉センター3F 大会議室(予定)
平成22年度 「水辺を活かす活動助成」	公益的で、河川・海岸等の水辺や水辺に関わる地域をフィールドとして行う自然体験や環境教育などの活動など	4/19(月) 必着	(財)リバーフロント整備センター企画グループ Tel (03)6228-3860 Fax (03)3523-0640 Email mizubei-j@rfc.or.jp

市民活動支援センターでは、NPO・市民活動相談などを受け付けています(毎週金・土・日午後2~7時、田原文化会館フリースペース)。同時にこの広報ページへの持ち込み原稿も大歓迎です! *紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先: 市役所市民協働課 TEL: 0531-23-3504 FAX: 0531-23-0180 Email: kyoudou@city.tahara.aichi.jp
紙面作成・編集: 田原市民活動支援センター



おしらせ				
		INFORMATION		

MEMBER OF COMMITTEE

委員

固定資産 評価審査委員会委員

固定資産評価審査委員会委員の鈴木貞敏さん（赤羽根町）の任期が満了しましたが、引き続き委員として再任されました。任期は2月8日から平成25年2月7日までの3年間です。



鈴木貞敏さん

募集

WANTED

田原福祉専門学校ホームヘルパー科2級コース受講生追加募集



介護を必要とする高齢の方や障害のある方が、地域社会で充実した日常生活を送るための身体介護、生活介護の技術や相談、助言を行うために必要な知識を学ぶ研修です。

- ▼対象Ⅱ義務教育を修了した方で全講座受講可能な方
- ▼受講期間Ⅱ4月17日（土）～9月25日（土）
- ▼開催日Ⅱほぼ隔週金・土・日曜日
- ▼開催場所Ⅱ田原福祉専門学校
- ▼追加募集人数Ⅱ3名（先着順／定員になり次第締め切ります）
- ▼受講料Ⅱ7万円／免除規定あり（受講開始日前3か月以上田原市民である方、または現に市内で介護業務またはホームヘルプ事業に3か月以上従事している方は無料）／別途テキスト代5000円程度必要
- ▼申し込みⅡ3月23日（火）から4月2日（金）までに田原福祉専門学校にある申込

申請書に必要事項を記入のうえ提出（申込申請書は田原福祉専門学校ホームページまたは市ホームページからダウンロードし、Eメールでの提出も可）

▼田原福祉専門学校

☎22局3939 FAX22局7340

✉senmon@city.tahara.aichi.jp

🌐http://www.tchs.ac.jp/

🌐http://www.city.tahara.aichi.jp/

生活

LIFE

メジロの愛玩飼養には許可が必要です

鳴き声を楽しむため



に国内の野鳥を飼う「愛玩飼養」には、許可が必要ですが、知事の許可を受けて野鳥を捕獲したうえで、田原市長が発行する「鳥獣飼養登録票」の交付を受ける必要があります。（登録を受けると、野鳥には足環が着けられます）愛玩飼養目的の捕獲許可を受けることができる野鳥は、現在、メジロに限られています。また、飼うことができるメジロは、1世帯につき1羽と決められています。希望される

方は、東三河県民事務所環境保全課にお問い合わせください。

▼東三河県民事務所環境保全課
☎（0532）54局5111
FAX（0532）56局5188

▼環境衛生課

☎23局3541 FAX23局0180

春の交通安全県民運動 4月6日（火）～15日（木）

新しい生活が始まる4月。通学路に不慣れた新1年生が、交通事故に遭うことが心配されます。また、暖かくなり、高齢者が散歩などで外出する機会や、歓迎会などで飲酒する機会が増え、高齢者や飲酒運動による交通事故の発生も心配されます。

ドライバーの皆さん、飲酒運転をなくし、子どもや高齢者を見かけたら、思いやりのある運転を心がけましょう。

重点目標

- ▼子どもや高齢者を交通事故から守ろう
- ▼すべての座席でシートベルトとチャイルドシートを正しく着用しよう
- ▼自転車の安全利用を進めよう
- ▼飲酒運転を根絶しよう
- ▼市民協働課

☎23局3504 FAX23局0180

春の安全なまちづくり県民運動
4月1日(木)～10日(土)

地域の皆さんと防犯協会や警察が協力し合い、身の回りに危険を及ぼす犯罪を未然に防ぐ活動を行います。地域ぐるみで防犯活動を行い、安心して暮らせるまちを目指しましょう。

●スローガン「3N運動」

- ▼犯罪にあわない
- ▼犯罪を起こさない
- ▼犯罪を見逃さない

▼市民協働課

☎ 23局3504 FAX 23局0180



寄付

次の方々からご寄付をいただきました。ご厚意に感謝します。

- ▼2月10日、中部電力株式会社様から、緑化推進と地球温暖化防止のため、エドヒガンザクラ120本、アジサイ17本、サツキツツジ91本、ヒラドツツジ122本、マルバシャリンバイ20本。
- ▼2月26日、田原パシフィックロータリークラブ様から、地域福祉のため、金20万円。

4/18
日

みんなおいでよ!

第7回市民緑花まつり



- ▶日時=4月18日(日)午前9時～午後3時
- ▶場所=はなのき広場・田原文化会館
- ▶内容=植木市、用土・花苗などの販売、苗木の無料配布、手作り花壇展示、フラワー教室、フラワー作品コンテストなど

参加者募集

① フラワー作品コンテスト

- ▶募集作品=寄せ植え(鉢など置くタイプの容器で50cm四方以内)
- ▶募集点数=50点(一人2点まで/先着順)
- ▶出展料=無料 ▶その他=優秀作品には賞品があります。

② フラワー教室

- ▶教室名・時間など=表のとおり ▶場所=田原文化会館
- ▶その他=完成した作品は、お持ち帰りいただけます。

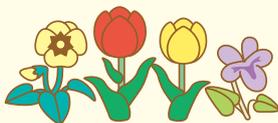
●申し込み

- ①②のいずれも4月12日(月)までに電話またはFAX・Eメールにて(FAX・Eメールの場合は住所・氏名・電話番号・参加希望部門・教室名を明記)

▶街づくり推進課

☎ 23局3523 FAX 23局0180

☒ machi@city.tahara.aichi.jp



■ フラワー教室

教室名	時間	参加料	定員
ハンギングバスケット教室 講師▶ガーテリア・ジジ	10:00～10:40	1200円	20名 (先着順)
コンテナガーデン教室 講師▶ガーテリア・ジジ	13:00～13:40	800円	30名 (先着順)
ハーブリース教室 講師▶金田由起子さんほか	11:00～11:50	500円	各20名 (先着順)
	13:30～14:20		
フラワーアレンジメント教室 (フラワーアレンジメントラッピング) 講師▶シルビアフラワーデザイン優花	10:00～14:00 (随時参加できます)	500円	50名 (先着順)

参加者募集

赤十字親子防災教室

～もしもの時、親子で助け合おう!～

赤十字ボランティアと一緒に、災害時の炊き出しや、幼児の応急手当を体験し、親子で防災意識を高めませんか。

- ▶対象=小学校高学年とその保護者
- ▶時間=午前10時～正午 ▶会場=田原文化会館(多目的ホール、はなのき広場)
- ▶内容=炊き出し、幼児の応急手当、クイズなど ▶定員=30組(先着順)
- ▶参加料=無料 ▶申し込み=4月12日(月)までに電話またはFAX・Eメールにて(FAX・Eメールの場合は住所・親子の氏名・児童の学年・電話番号を明記)
- ▶福祉課

☎ 23局3512 FAX 23局3545

☒ fukushi@city.tahara.aichi.jp



● 昨年の炊き出しの様子(開催地:小牧市)

広がる未来へ

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

47

●地球温暖化防止④ ライトダウンキャンペーン

2月の省エネ月間に合わせて、ライトダウンキャンペーンを行いました。これは、事業所などのエネルギー使用量を減らし、地球温暖化防止の活動を広げるための取り組みです。今回の実施でも、市内の多くの事業所にご参加いただき、大きな成果がありましたのでご紹介します。

●実施結果

- 期間 15日間(2月1日～15日)
 - 参加事業所 67事業所
 - 削減電力量 約1万2000kWh
 - CO₂削減量 約8000kg
- ※原油にすると約3200リットルの削減(ドラム缶18本相当)

●主な実施内容

- 休憩時間・就業時間前後の消灯
- エアコン稼働時間の調節

消灯のほか、照明器具の清掃やノーカーダーの実施、冷蔵庫の省エネなどにも取り組んでいただきました。

最近では、LED電球が普及し始めています。消費電力は白熱電球の約10分の1、電球の寿命は約40倍にもなります。価格は白熱電球や電球型蛍光灯に比べて少し高めですが、

長期間使えば環境面だけでなく経済面にも優しい電球です。また、LEDは、すぐに明るくなり点滅に強いので、スイッチの切り替えが多いトイレの照明などにお勧めです。電球を交換する際に、検討してはいかがでしょうか。



●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人608人・事業所24か所(2月末現在)

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX23局0180



省資源とリサイクル

23

昨年の4月1日からレジ袋を有料化して、もうすぐ一年が経過します。今回は、レジ袋削減の成果などについてお知らせします。

レジ袋の辞退率はどのくらい？

レジ袋の有料化は、現在市内15店舗で実施されており、各店舗において、継続して高い辞退率を維持しています。

●辞退率の推移

- 4月 87.3%
- 5月 88.8%
- 6月 89.9%
- 7月 89.0%
- 8月 89.2%
- 9月 89.1%

※10月以降の辞退率については、3月末までの辞退率と合わせてご報告します。

レジ袋は便利だけど、レジ袋を作るために、貴重な天然資源やエネルギーが使われているんだ。



何がどのくらい削減されたの？

- 4月から9月の間に削減されたレジ袋について
- 削減されたレジ袋枚数 299万8823枚
- 削減されたレジ袋重量 (1枚/9.9g換算) 2万9688kg
- 削減されたCO₂の排出量 178t
- ※一般家庭から排出されるCO₂の約30年分

レジ袋の削減は、ごみの減量化とCO₂削減に向けた取り組みの一つです。ご理解とご協力をお願いします。これからもマイバッグでの買い物続けていきましょう。

清掃管理課
☎23局35588
FAX23局0180



交流通信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶ 広報秘書課 ☎ 22局0138

愛・地球博で結ばれた友情 ラオス人民民主共和国との交流

今回は、農業分野などで交流を行っているラオスとの交流をご紹介します。

● 交流のきっかけ

2005年に開催された『愛・地球博』で、参加各国と県内の市町村が交流を深めた「一市町村一国フレンドシップ」。田原市の相手国だったことが縁で、ラオスのサイタニー郡と交流が始まりました。

● 農業研修事業—ラオスにバラを咲かせよう—

JICA(独立行政法人国際協力機構)から「草の根技術協力事業」の委託を受け、田原市では平成19年度から3年間、ラオスでバラ栽培実現を目指す農業支援プロジェクトを実施しました。

平成19・20年度は、サイタニー郡農業事務所職員を2名ずつ、約4か月間にわたり研修生として受け入れ、市内の農家でバラ栽培技術や土づく



▲ 田原市内での研修の様子

りの研修を行いました。

また、平成20年度は、農業専門家を田原市からサイタニー郡に派遣し、現地でバラの定植を支援しました。そして今年度は、農業専門



▲ サイタニー郡で栽培指導



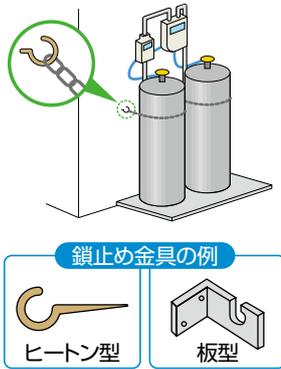
▲ 一面にバラが咲き誇る日を夢見て

▲ サイタニー郡で栽培指導
家を3回派遣し、バラ栽培の指導を行いました。
帰国した研修生たちは、田原市で学んだ技術や試験栽培の経験を生かしながら、きれいなバラが咲くように今も努力を重ねています。

田原市は、今後も支援を続けていく予定です。

◆ **マイコンメーターをチェック**
マイコンメーターは、ガスの流れや圧力などに異常が発生した場合、自動的にガスを遮断したり、警告

※固定されていない場合や金具などが外れかかっている場合は、販売店・取扱店にお問い合わせください。



◆ **ガスボンベをチェック**
図のように、LPガスのボンベが鎖や金具などでしっかりと固定されているか確認しましょう。

◆ **ご**
す。今回は、ご家庭でよく利用されているLPガスの安全チェックについてご紹介します。

かんちゃん^の防災まめ知識

LPガス

58



忍びよる巨大地震

を表示したりする機能をもった保安ガスメーターです。異常が発生した場合は、図のように表示されますので、覚えておきましょう。

- 長時間使用した時または消し忘れた時
- 地震が発生した時など
※震度5以上の揺れで自動的にガスを遮断
- 大量にガスが漏れた時
- ゴム管や配管にヒビがあった時
※微妙な漏れが30日以上続いた場合、警告を表示

● ガスが遮断された場合の復帰方法

- ① 器具栓、ガス栓をすべて閉める
- ② メーター左側にある復帰ボタンを押すと「ガス止」の文字が消える
- ③ 液晶の文字と赤ランプが1分間程度点滅

④ 文字と赤ランプが消え、復帰完了
※復帰しない場合は、販売店・取扱店にお問い合わせください。また、地震などの災害後は、販売店・取扱店の点検を受けてから使用しましょう。

▼ 防災対策課 ☎ 23局3548

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

田原が誇る思想家・岡田虎二郎

虎二郎は、教育に対しても多く発言をしていますので、いくつかご紹介しましょう。

「教えただけのことを記憶させるのが教育ではない。教えただけのことを模倣させるのが教育でもない。教えないことを発明し、発見し、創作するところの所謂創造の力を、わき出しむるのが教育である。」

※「ペスタロッチーは貧乏人のみ同情しすぎた。貧富共に同じ様に見えなければ本当の愛ではない。貧乏人のか



▲蔵王園地に眠る岡田虎二郎

はいそんな事は知って居ても、金持ちや上流人を憎むものが多いが、修養の上から見れば貧乏人と少しも違ひないばかりか、寧ろ一層お気の毒な点がある」

「忠君愛国を説く者は国を亡ぼす者である。我が君主たるが故に敬せよ、我が国家たるが為に愛せよ、我が祖廟たるを以て崇めよ、といふのは真の大愛ではない。相対的の愛である。而も是を觀念として注ぎこんで、之を他に強ひんとするに至っては危険之より甚だしきはない。大愛は絶対であつて、天の覆ふが如く、他の載するが如く、貴賤もなく、階級もなく、貧富もない。国境もなければ、人類鳥獸の差別もない。天皇を敬する心



▲静坐碑(田原城 三の丸)

も鳥獸を愛する念も大愛には高下はないのである。」

大正元年、このような虎二郎の発言は忠君愛国教育を進めた時代には、危険思想として社会的に認められるものではありませんでした。しかし、その後日本が、太平洋戦争に導かれたことを考えれば、虎二郎の警告はまさに先見の明があつたといわざるを得ません。

虎二郎は別の語録で、教育の根本にあるのは「愛」で、その愛は「太陽の光のような愛」と述べ、愛の教育はすべての人を変えることができるとしています。虎二郎の思想の根本とする「大愛」は、すべてのものに対する絶対的な愛なのです。

虎二郎は金にも縁がなく、強制的に教えようとせず、講演、著作すらも行いませんでした。日記も後年、誤解を招くとして処分しています。

今伝わる虎二郎の思想は、静坐の会や日常の中で聞いた弟子や知人たちがまとめたものなのです。静坐を通じて伝えられたその言葉は、ひとつひとつが心に突き刺さるように鋭いですが、温かさに包まれています。今こそ、虎二郎の思想を学ぶべきでしょう。

ここに紹介したものは『伊奈森太郎遺稿抄』（「静坐百訓補説」）に掲載されています。市内の図書館でご覧いただけますので、ぜひ、ご一読ください。

※ペスタロッチー
スイスの実践教育学者。貧民の救済のほか近代教育の基礎を築いた。

(増山)

今月の「表紙」

▼田原市のアルストロメリアの平成18年農業産出額

は、市町村別で全国1位。生産農家のお宅を訪ねてみると、作業場はまるでお花畑のようでした。お花が届いた人も笑顔になるようにと、心を込めて栽培しているとのこと。きつと全国で、笑顔の花が咲くことでしょう。(O)

【表紙の写真】アルストロメリアを愛情こめて栽培している農家さん(古田町)